

交通安全  
宣言都市  
青少年愛護

# まつやま

市 広 報

発行人 藤井隆雄  
編集 藤井隆雄  
印刷 藤井隆雄  
発行所 藤井隆雄



世界の人に「左義長ばやし」を

## 万博出場に備え練習始まる

「ドンドコ、ドンドコ、ドンドコ」と太鼓や笛のにぎやかな左義長ばやし、時ならぬ夏の夜市民会館に流れます。

これは世界の人たちに、鶴山の左義長を見てもらおうと、同保存会（会長 安国元吉）の人たちを中心とする左義長ばやしの万博出場のための練習風景です。

当市の奇祭「左義長ばやし」は米年開かれる万国博のお祭り広場で世界のまつり福井県の都で七月二十八日・三十日に出場することになり、

予定されています。

練習は毎週金曜の夜七時～九時まで市民会館ホールで行なわれています。練習には男女老若を問いませんからさそい合せて多数参加ください。

市では左義長ばやしを市の文化財に指定し、郷土芸能の保存と育成をはかろうと検討中です。万国博出場を機会にみんなで盛りたてていきたいものです。

## 九月一日に開園

### 成器西幼稚園本町分園できる

成器西幼稚園本町分園は、本町一丁目の旧保健所の建物を改築する工事が進められていましたが、近く完成し、いよいよ九月一日開園することとなりました。

この分園は、工事費二百万円内で一次工事が行なわれ、保育室三、教員室、休養室、遊戯室があり、保育定数八十七名三学級です。

成器西幼稚園は旧市役所と消防庁舎を改築して使用していましたが、建物が老朽化した上、園児数も二百三十四名と多く、保育上不便をかこっていました。これを解消するため本町分園がつけられました。市では今後の対策として同園舎の新設を予定しています。

分園へ通園するのは、栄町全町と本町一丁目の園児です。

# 八千五百万円の単年度実質黒字

## 財政再建着実に進む

### 四十三年度決算と財政再建計画の実施状況

市では毎年二回財政事情を知らせていますが今回は昭和四十三年度決算状況および財政再建計画の実施状況を公表します。市民のみならず市財政の事情について正しく理解して積極的なご協力をくださるようお願いいたします。

◆一般会計決算  
前回公表しました四十三年九月末の一般会計予算額は十三億六千九百九十二万二千円でしたが、その後四回修正予算を行った結果最終予算額は十四億三千五百五十三万三千円となりました。これに対する収支決算の状況は各別性質別の支出済額は第一表および第二表のとおりです。収入済額は千二百五十六万九千九百円に對して支出済額は前年度繰上充用金を含む、十四億千九百八十八万八千円を差し引いた赤字五億六千六百六十一万九千円は昭和四十三年度の歳入を繰上げて充用しました。

これを四十二年度末の赤字と比較しますと四千六十六万五千円減少していますがこれは財政再建計画に従って種々の措置を講じて赤字を解消したためです。

また四十三年度だけの単年度の実質収支は、前記の赤字解消や財政調整基金の積立て四千百万円、市債繰上償還金などで八千五百六十四万七千円と大巾な黒字となりました。

市税の収入率は九八・一パーセントと良好で数年来引き続いて順調であり、市民のみならずのご協力によるものと深く感謝しております。(第三表)

国・県支出金その他についても収入の確保に努めた結果はほぼ予定どおりの決算となりました。

支出の面では消費的経費の節減合理化に努めたほかつぎのとおり公共施設の整備拡充をしました。

- 一、都市計画(保川下水路、長山公園、北谷線外街路築造)
- 二、道路舗装、改良
- 三、河川、水路改良 四、五九万九千円
- 四、塵芥焼却施設建設(四十二年度継続) 七〇〇万九千円
- 五、産業振興(農業構造改善土地改良、林道) 一、五六五万九千円
- 六、中部中学校整備(体育館スクールバス) 二、五八三万九千円
- 七、学校プール建設(荒土小、村小) 七八八万九千円
- 八、市有林造成 九八三万九千円

九、失業対策事業 六〇七万九千円  
十、災害復旧事業 二、四五三万九千円

◆特別会計決算  
国保など特別会計の収支決算の状況は第四表のとおりです。

◆財産と公債  
四十三年度末の市債総額は七億九千三百二十一万九千円、このうち一般会計分は五億七千七百六十五万七千円です。その目的別、利率別、借入先別の内訳は第五表。

### 財政再建計画の実施状況

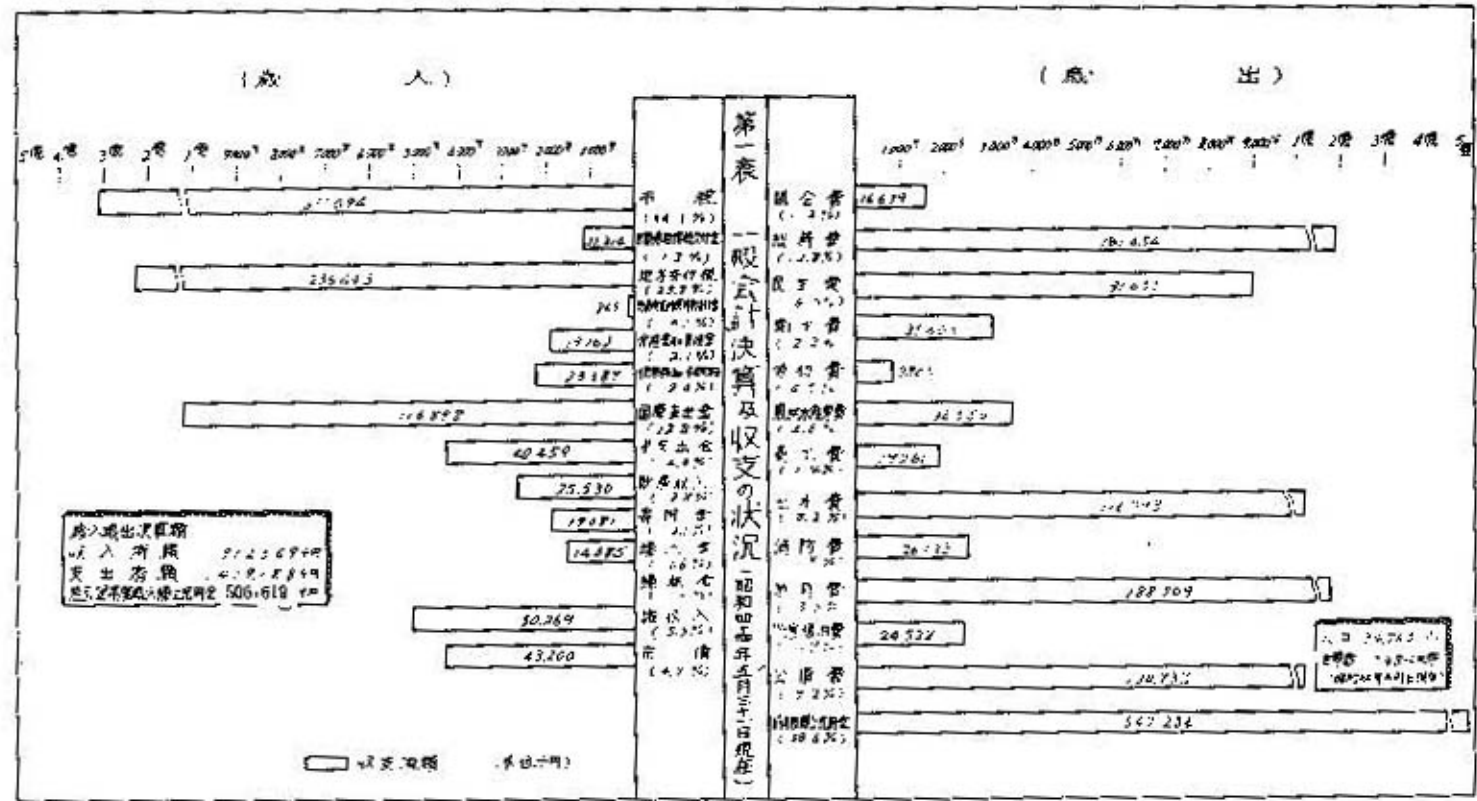
四十三年三月三十日付で財政再建計画が自治/臣より承認され、この計画にもとづいてこの一年間に実施されたものは

◆行政事務機能化と職員定数減  
①課の統廃合(二課減) ②公民館等の行政事務改善 ③ゴミ収集、火葬場業務を民間業者に委託 ④十四年度から税務計算事務の電子計算センターへの委託準備

これにより普通会計職員は二十六名減員し、現定数は三百四十五名となる。

◆経費の節減  
物件費、補助費等は再検討して合理的な節減を計ったほか、一時借入を抑制し、利息を節減。

◆市税の据え置きと建設事業の充実はかる  
市税では発端所などの大規模箇





定資産税率を100分の0.1引き上げたばかりはすべて税率を据え置いた。一方建設事業は地方交付税の増加により積極的に追加補正をして充実をはかる。

以上の諸措置によつて当初の予定赤字解消額三千万円のほかに①一千六十六万五千円を計画超過して解消②特別交付税などの収入増分四千万円を財政調整積立金として繰り越し、四十四年度の建設事業等の財源に充てることにしました。

再建融資(借入金)は、四十三年七月金利の安い政府資金(利子補給を並引きし年三分七厘)を借り入れ、市中銀行の借入金を返済してこの政府借入金は本年三月末に三千万円を返し、現在残高は四億七千万円となりました。これは五十四年度までに返済する計画になっていますが、もつと繰上げ返済できる見込みです。

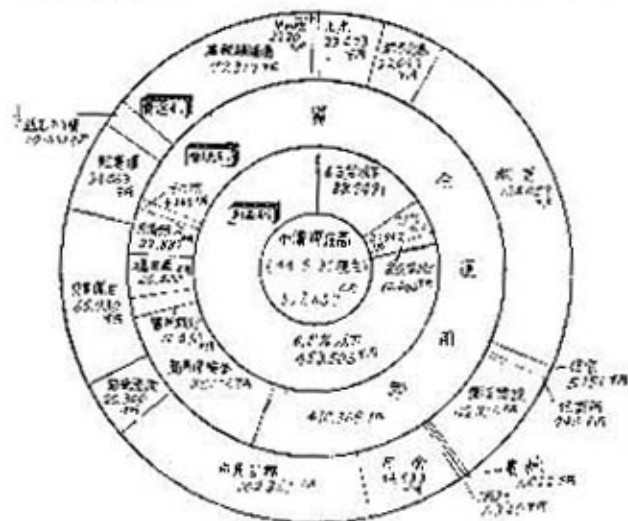
財政の弾力性を示す經常収支は四十二年度は九二・八パーセントと交付と最高でしたが四十三年度当初は八九・一パーセントに下がりました。その後地方交付税などが大巾に増加し、建設事業や国体運営費などの追加にあつたため八〇・三パーセントと大巾に改善され、財政再建一年目で早くもその成果が出てきました。

以上が市財政の簡単なあらましです。今後は市民のみなさんのご理解とご協力により財政の再建を進めながら、社会経済状況の急激な進歩に対応して住民福祉のための行政を積極的に推進します。

第五表 公債の状況

一般会計

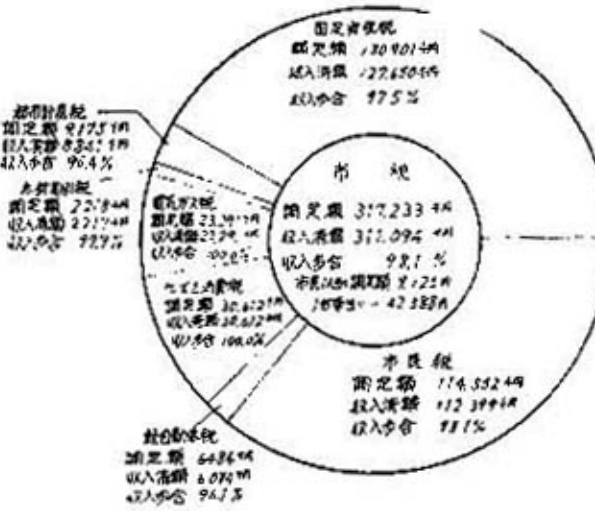
費途、借入先、利率別



第二表 一般会計性質別決算の状況



第三表 市税の収入状況



特別会計

会計別	現在高	借入先	利率
市有林造成事業	51,000	公営企業金融公庫	3.5~5.0%
土地区画整理事業	43,000	公営企業金融公庫	7.3%
簡易水道事業	88,466	簡易保険局 資金運用部	6.5%
水道事業	93,087	公営企業金融公庫 福井銀行	6.5~7.6%

第六表市有財産の状況



第七表 一時借入金の状況

一般会計	470,000,000	資金運用部	-
水道会計	-	郵政省簡易保険局	470,000,000
土地区画整理事業	30,529,404	銀行その他	30,529,404

第四表 特別会計の決算及び収支の状況

(単位千円)

区分	収入済額	支出済額	差引残額
市有林造成事業	25,581	25,581	-
土地区画整理事業	10,000	48,220	△38,220
簡易水道事業	3,684	3,399	285
国保健康保険事業	134,886	124,982	9,904
岡鹿谷直営 診療所	7,245	6,648	597

# 六月市議会だより

## 八議案を可決

### 六月定例市議会終わる

六月定例市議会は、六月二十八日から七月三日まで六日間開かれました。

本会議では山内市長は「ことしの事業も着々と進み七月十日には北郷小学校プールが予定通り竣工。また中部中学校の寄宿舎は七月一日発注、野向公民館・鹿谷小学校の設計も近くで上がる予定です。」

**幼稚園設置条例など**  
 なお五月末で四十三年度の一般会計の出納閉鎖をした結果、四十三年度は八千五百万円の実質赤字という大巾な赤字となり予想外に良好でした。この八千五百万円の内訳は赤字解消額四千万円、財政調整積立金四千万円、市債（災害公共債分）の繰り上げ償還額五百万円であります。財政再建後一年を経りましたが財政状態は著しく改善され相当早く償還のできる見込みがでてまいりました。

業の経過を報告。  
 このあと成器西幼稚園本町分園の開設にともなう幼稚園設置及び管理条例の一部改正など八議案を可決しました。



**一般質問**  
 山岸議員①住宅地が郊外に伸び、養豚業が市街地のなかで行なわれて住民が迷惑している。業者の生活権を守り、住民の福祉のため、市の方で換地のあつ旋をすべきである。また都市計画事業として移転補償金を出せないのか。  
 松村都市計画課長①今まで市内の養豚業者に集つてもらい郊外への移転を話し合つたが、権利、補償問題が難しく今のところ話が進んでいない。今後都市計画事業の立場から話を進める。しかし都市計画事業としては移転補償金は対象地区以外には出せない。  
 市長①都市計画事業の対象とならない地区での移転については公害防止、生活環境の整備など住みよい町づくりという立場から話を進めたい。この問題は国家の政策として進め打ち出されておられ、市町内の義務として取り上げやすくなつて来ているので、できるだけややつていきたい。

山岸議員②学校の机・椅子など低く過ぎたり、傷ついたりしているものがある。その充実は建設事業と併行してどのように実施するのか。

森下教養庶務課長②勉強に支障があるものは、計画的に新調していきたい。本年度は六十万円内の子算であるが、毎年同額ずつ五カ年計画で新調する。

島田香議員①国保の出産手当増額実施についての今後の見通しを問う。

山口市民課長①ことは年度なかばなので、来年四月一日から二千五百円を一万円に増額する予定である。

島田香議員②水の使用量の増加とダム建設などで地下水が減少して各所で井戸枯れを生じている。また一方で上水道の給水戸数をことし百五十戸ふやすというが、上水道の現状の水量と今後の地下水対策を問う。

大沢水道課長②一日の取水量千トンの井戸を昨年に、そして同三千トンの井戸が近く完成するので当分の間水不足はない。

島田香議員③上志比村から勝高へ進学している生徒は九十名程ある。広域行政が進められている折橋村との合併をどう考えているか。

市長③折橋村合併は政治的な問題があり中々困難である。

島田香議員④時間を守る市民運動が推進されているが、会議の議案者は当日渡すのでなく、前日までに届くようにしたらどうか。

松村総務課長④できる限り実施する。

武内議員①梅雨期に入つたが水防対策は完全にできているか。  
 松村総務課長①五月二十六日に総点検を行ない備えは完全である。

武内議員②白山及び奥越山岳群の観光開発計画の具体的な方針をお聞きする。またこれに関連する市林道の開発をどのように考えているか。

市長②加越国境へ出るための小原大幹線林道は七月着工の予定であり、雁ヶ原から法恩寺へのドライブウェイを早く着工するよう県へ強く働きかける。また関連の市道・林道の開発は当然やらねばならない。特に共同利用牧場への道路は早くやる必要がある。

松村議員①成器西幼稚園の分園が九月一日から開園されるが、教具・備品の購入にあつては父兄から寄附を集める計画があるのか。  
 松田教育長①成器西幼稚園分園の教具購入費は国庫補助が三分の一あり九月市会に五十万円の予算の補正を予定している。父兄の負担は要請しない。

松村議員②し尿処理場の汚けない汚物を処理するため脱水器を備えてはどうか。  
 山内厚生課長②他所の例を調べよく研究してから処理する。

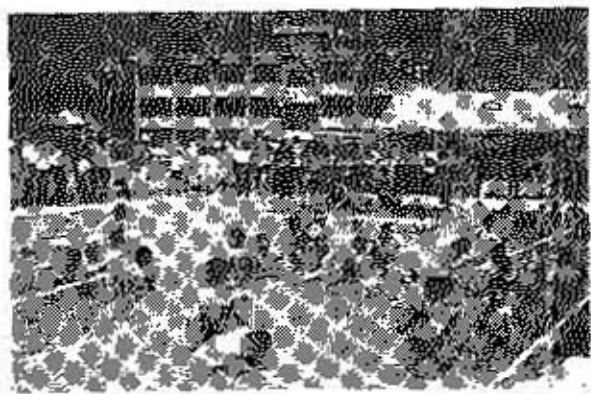
松村議員③市職員のベース・アップが行なわれたが、アップにより特別職の給料を上回る職員は給料と特別職の給料との関係はどうなつていくか。

山内市長③特別職の給料の方が高い。近く改正せねばならないであろう。

## 北郷小学校

### プール完成

北郷小学校のプールが完成し、十八日完成式が行なわれました。プールは▽工費五百五十万円▽長さ二十五メートル▽巾十二メートル(五コース)▽深さ一メートルの低学年用と五十センチメートルの幼児用があり、底と側面にタイルを張つたデラックスなものです。



川遊びの危険から解放された子どもたちは、新しいプールで真夏の太陽をいっぱい浴びて水遊びに大奮びです。

市内の学校プールはこれで七カ所となり、市内十三校の半数にあたります。市ではこれからも毎年一基か二基づつ新設し、この四年ほどで市内全校に設置する予定です。



# 村岡小学校にジェット機

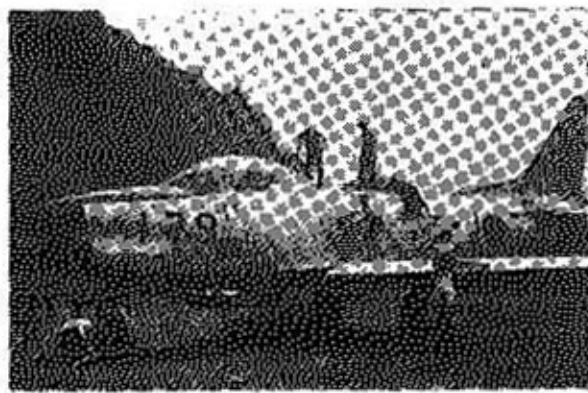
## こどもたちに大空への夢

村岡小学校にジェット戦闘機が  
登場しました。

この戦闘機は「月光」と呼ばれ  
たP86D型機で長さ十二・三メー  
トル、翼の幅十一・三メートル、  
時速千八百キロです。三十三年  
ごろ米軍から訓練用に譲り受けた  
が、古くなったものです。

村岡小学校出身の防衛庁勤務官  
岡由太郎三佐(富)の口ききで同校  
に贈られることとなり、小松基地  
から分解して運ばれて来りました。

機体のまわりにむらがつたこと  
もたちは、翼をなで、飛行機に乗  
つたり、カツコイー。と大空への  
夢をふくらませています。



# 勝山

(5)

## 季語

○イ草干し・花コサ 水田に栽培したイ草は土用に刈りとって干す。ゴザの産地鹿谷部落では、路傍や河原などの空地に、イ草を干し並べる風景が見られる。

灰汁や白土に浸し炎天に晒して白く仕上げられる。これを冬仕事まで貯えてゴザに織るが、魚染めしたイ草を織り出した花ゴザは涼感を呼んで、夏用の麻布団・寝ゴザなど敷物や枕も作る。

○葉煙草 「勝山刻み」煙草の名で、葉煙草産地としては、伝統を誇る地方である。収穫は七月

月中旬から始まり火力乾燥にかゝる。共同乾燥場で交代して行う夜通しの火の添は、盛夏の村落風物でもある。

○盆かたびら 湯ヒリ衣爽やかな浴衣(ゆかた)は盆かたびらの略、真岡大縮縮み地を用いるが、荷は上に麻地で、盆に新調するものを盆かたびらと呼んだ。

この地方の桑摘み歌に「桑こけ桑こけとせかしておいて蘇かたびらも呉れなんだ」とあり女子衆へは盆の贈物でもあった。盆摘みは女の仕事、夏魚は川魚にマユを敷り、盆前争いのいに京官がられた。

○頭如講 惣持の光守では八月二十三日が古くからの頭如講、

## 青少年育成の一助に

### 贈る図書とテント

四十二年春以来、市が開設している留守家庭児童会に對してこのほど勝山ロータリークラブ(池田知幸会長)から「母と子の名作童話全集」(全30巻)と「むかしむかし絵本」(10冊)が寄贈されました。

児童会(ひばり児童会とつばめ児童会)では現在小学校一年から四年までの児童六十九名が楽しい毎日を送っています。このすばらしいプレゼントに大よろこび、ひつぱりだてで嬉しそうに読み合っていました。また野外活動を通じて

## 善意銀行

善行銀行へ七月六日までに預託されました方は次のとおりです。

○金雙口産 木下きみよ(本町一丁目) 千円、小林和広(北郷町志比原) 千円、屋敷吉蔵(芳野町二丁目) 五百円、木下きみよ(本町一丁目) 千円

○物品口産 炭谷和夫(芳野町二丁目) 老人用着物二十五点、前田庄一郎(栄町一丁目) 子供着物一点、中村恵子(昭和町一丁目) 机・いすの一組、渡頭吉(芳野町二丁目) 本二冊

○灯籠売りの利益金を預託

七月のお盆が近づくと子供たちの灯籠売りの姿は夏の風物誌となつていますが、この灯籠を売った利益金を困っている人たちにと善行銀行へ預託したよい子がいます。

このよい子はいづれも成器西小五年生の深川美幸さんら次の十名で、十日の青少年を守る日に、市の青少年愛護センターから表彰を受けました。

深川美幸、大川圭子、大川彰、朝原佐男、中村和夫、南茂けい子、杓子一弘、和田耕三、松井龍二(二千六百四十円)、松村千尾(三百四)

## 8月17日は「家庭の日」

### 祖先のご恩に感謝しよう

現在がどんな状態であらうともまず祖先のご恩に感謝しなければならぬ。

教育は感化だといわれる。親自身が祖先に感謝の念を抱き、態度で子どもに示すことである。仏前にお参りするともよかる。祖先から頂いた品物を大事に扱うこともよかる。機会あるごとに祖先について対話するのも効果的である。とにかく親孝行な人間に育てようと思つたら、祖先をうやまう家庭をさぐくことである。

## 毎月実施される

### 行政・心配ごと相談

毎月第二水曜日には行政苦情相談が、また第三水曜日には心配ごと相談が午前十時より市役所にて行われています。どうぞお気軽にご利用ください。

# 国民年金に加入しよう

国民年金は年金制度から取り残された自営業者、農業者など一般国民を対象として老令、障害、死亡などの事故から生活を守るために実施されています。

加入しなければならぬ人は、国民年金以外の公的年金制度の加入者・年金受給者及びこれらの配

自動車による交通事故は、ますます増加していますが、交通事故で他人をけがさせたり、死亡させたりした人は被害者や、その遺族に対して損害を賠償しなければならぬことになつています。

## 交通事故の傷害はすぐ届出を

事故の被害者が医療を受けた場合はその費用は当然加害者が負担しなければなりません。しかし特別なケースで賠償を受けられないとか自動車損害賠償保障の限度額を越えたため加害者に賠償の支払い能力のないときなど被害者の都合で国民健康保険をつかいたときは交通事故であつても保険金を提出して診てもらえることになつていません。

国民健康保険で診てもらいたい人は次のような手続きをしてくださいます。

① 医療機関の窓口で交通事故で

## 8月31日に 通教洋教学習会

文部省認定社教通信教育洋教共同学習会が次の通り開かれます。洋教の社会通信教育を受講中の人や、終了された人、これから受講しようとする方はぜひ参加ください。

◇とき 8月31日午前10時～午後4時

◇会場 市民会館

◇内容 ①フレイヤー・ブリーツスカーットの作り方など②各自が制作した作品を着用

その批評と採点・質疑応答

◇講師 福井文化服装学院長 朝日紀久千先生

## 新築のときは

電話用配管をお忘れなく

鉄筋コンクリートやモルタルの建物で電話用配管がないと電話の取り付け工事がたいへんむずかしいのです。

プリント合板を使った美しい壁ビニールタイルのピカピカした床の豪華なお部屋も電話用配管がないとはだか配線となつてとても見苦しくなります。

新築工事の際にあらかじめパイプを壁に埋め込んでおけばこういう問題が起りません。電話用配管がなかったため電話の取り付けが遅れてサツパリ商売にならなかつたという例もありますから将来のこととも考えて設計しておきましょう。

## 市民の怨

この記事は荒土町の石井さんが市民のみなさんにぜひ読んでほしいと寄稿されたものです。みなさんもお気づきのことがありましたらどしどし投稿ください。

### 人生行路の示すもの

最近アメリカの銀行協会では人生における一人前として社会に出た二十五才の青年、百人が同一のスタートに立つて出発したとすると、これらの人々の人生行路で将来たどっていく運命はどうであるかを調べた結果、次の様になつて

いるそうです。アメリカと日本という違いはあるが生活という面における人間の本質には変りがない筈です。指標になにかの資料として役立つならば甚だ幸いです。

人間一生のうちに毎日の日々を有意義に使うのとほかんとした日暮しするのでは大きな違いがでて来るものではないでしょうか。もう一度考えてみたいものです。

昭和四十四年六月 米志より  
荒土町中清水 石井正記

二十五年間	相当の有産者 やや裕福な人 生活の安定 ようやく自活する人 死亡する人	十名 十名 四十名 三十五名 五名
三十五年間	相当蓄財した人 ようやく自活する人 貧乏する人 死亡するもの	四名 四十五名 十五名 十六名
四十年間	富める人 やや裕福な人 やつと自給自活する人 他の扶助による人 死亡するもの	一名 三名 四十六名 三十名 二十名
四十五年間	富豪となる人 やや裕福な人 貧しくとも自活する人 他の保護により生活する人 死亡するもの	一名 三名 六名 五十四名 三十六名
五十年間	やや余裕のある人 生がいの無い生活をする人 死亡するもの	二名 三十五名 六十三名